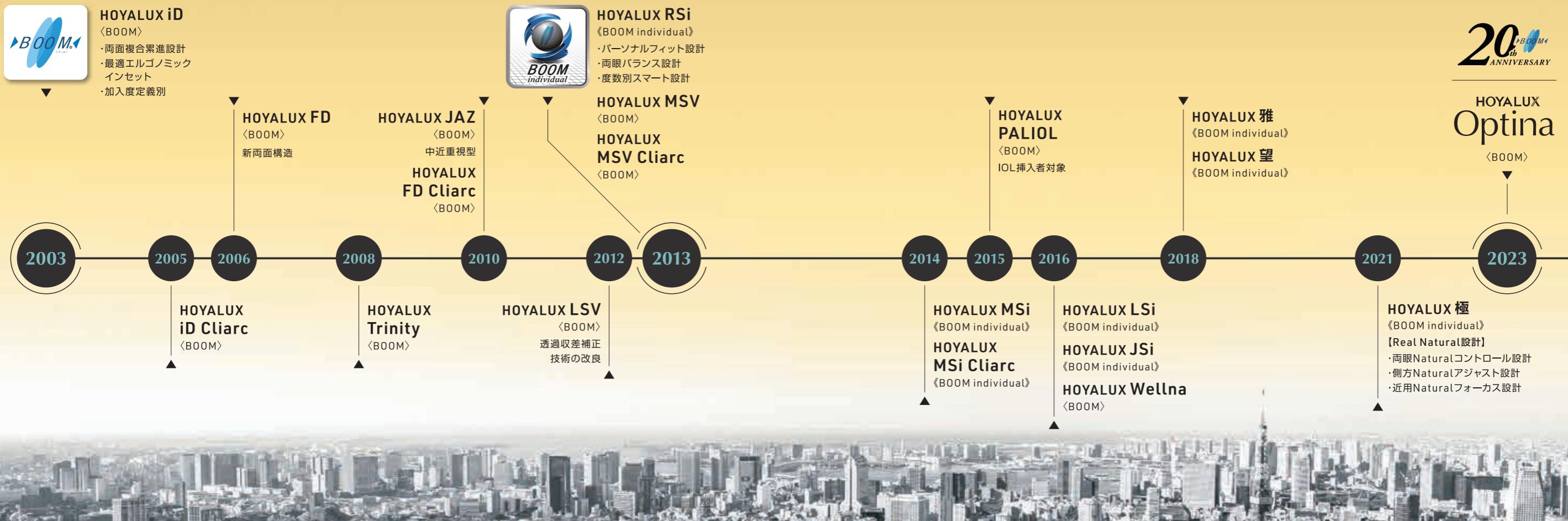


楽な視線移動とユレ・ユガミの大幅な軽減を実現した HOYA独自の両面複合累進設計〈BOOM〉が よりナチュラルに、よりバランスよく、進化しました。

20年の進化の軌跡



2003年〈BOOM〉、 2013年〈BOOM individual〉、誕生。

HOYAの累進レンズ設計には長い歴史と独自の設計理論があり、ユーザーにとって最適な見え方を常に追求し続けてまいりました。はっきり見える範囲が広い両面複合累進設計〈BOOM〉としてHOYALUX iDが誕生して20年…。よりパーソナルなニーズに対応した《BOOM individual》が誕生して10年。そして2023年…。その技術を融合させた、「よりナチュラルに、よりバランスの良い」見え方を実現する新設計がラインナップに加わります。

よりナチュラルに、バランスよく。 HOYALUX Optina、誕生。

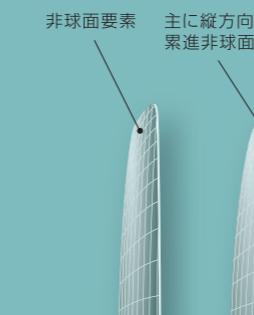
「国民総スマホ時代」と言っても過言ではないほど、デジタルデバイスが浸透している現在。世界情勢の影響も受け、

メガネレンズには「超高齢化+スマホ普及による近業目的距離の短縮)=高加入度の累進」というニーズが増加。ところが従来の高加入度の累進レンズには馴染めない傾向も高く、「掛け替え」にもうひとつ踏み切れない層がいるのも事実です。そこで、HOYAでは独自のユーザー調査を実施。装用を躊躇する原因を徹底的にシミュレーションしてきました。ネガティブな理由としてあげられたのが、高加入度ゆえの「ゆれ」や「ゆがみ」、「左右の視力バランスの違い」など。これらが累進レンズ離脱の原因のひとつであった可能性が見えてきました。

そこで、高い加入度でも装用感が良い〈BOOM〉シリーズに、さらに「近方～中間」を考慮した最高峰設計のHOYALUX Optinaを加え、《BOOMラインナップ》を拡充。今後もHOYALUXの技術開発は進化を続け、デジタルデバイス社会での快適な生活スタイルをご提案します。

両面複合累進設計〈BOOM〉

外面設計



内面設計／フリーフォーム加工(非球面／アトリック)

